



こうげわくわく 子ども探険隊Ⅵ

探険隊の任務
子どもたちに与えられた任務は、上毛町の宝探し。テーマに沿って、子どもたちは、3日間でさまざまな体験をします。そして、これらの体験を通して発見した宝を地図にまとめ、最終日に発表します。



21
二
日
目

わくわく子ども探険隊とは？

21世紀を担う子どもたちが、町の自然や歴史文化、産業、福祉など、さまざまな分野で活躍する地域の人たちと出会い、ふれあうことで、町の魅力や課題を考える機会を作り出すことを目的としています。町と社会福祉協議会が主催し、今年で6回目の開催となります。今回は、唐原にスポットをあてて開催し、町内の各小学校から25名の子どもたちが参加しました。

探険隊には、地域で活躍しているおじさんやおばさんが子どもたちの先生として登場します。今回は、地域づくり活動団体の方々や地域の方々にご協力をいただきました。

唐原を舞台に、子どもたちは、普段学校では学ぶことのできない様々なことを楽しみながら体験していきます。

上毛の宝を探す旅にでよう

普段、何気なく生活していると、身近なことでも、意外と知らないことが多いものです。

自分たちの暮らす上毛町を知り、唐原で活躍するあらゆる分野の方々が先生となって、いろんな体験をします。

体験を通して、上毛の宝(人・自然・歴史など)を身をもって感じました。

オリエンテーション

7月30日(水)探険隊初日、げんきの杜に集合しました。4つの班に分かれた子どもたちは、それぞれ自己紹介をし、班長と副班長を決めました。

町の紹介

「上毛町ってどんなまち?」「みなさんはどう思いますか?」そんな投げかけをしながら、観光ガイドブック「上毛の宝」とスライドを使用して、子どもたちと一緒に町の自慢(自然・文化・おいしい食など)そして、それらを継承する地域の人について考えてみました。

障害者支援施設「月の輪学園」見学

「障がい者支援の現状を知る」

「月の輪学園」を見学し、施設の職員の方から施設の概要について、説明してもらいました。見学を通じて、施設で働いている人、施設を利用している人と触れ合い、子どもたちは、障害者福祉の現状を感じることができました。

原井婦人会の「ふれあい活き活きサロン」に参加

「唐原地域の方々と交流」

原井地区にある妙円寺にて、「ふれあいいきいきサロン」に参加させていただきました。地域の方々と、新聞紙を丸めたボールをたらいに入れるゲームなどを行い、交流しました。

レクリエーションで楽しんだ後は、いっしょに昼食をいただきました。地元の食材を活かしたおぼちゃんたちの手づくりの味に大満足でした。

唐原史跡めぐり

「唐原の歴史や史跡を学ぶ」

午後からは、唐原の歴史・文化を体験するため、教務課の塩濱さん、佐藤さん、地域づくり活動団体「絵本製作委員会」の皆さんの説明を受けながら唐原の史跡を探検しました。今回探検した史跡は、有野弘法窟、耶馬溪駅跡、百留横穴墓群、穴ヶ葉山古墳、唐原山城跡、桑野原合戦場です。

今から約1400年前の古墳時代に作られた古墳「百留横穴墓群」では、お墓の中に入っていたとされる首飾りを付けさせてもらいました。また、国指定史跡である「穴ヶ葉山古墳」では、全長10mもある内部に入って、壁面に描かれている鶏や木葉などを見ました。子どもたちは、熱心に観察し、説明を聞きっていました。

調理体験

「郷土料理づくりを体験」

夕食づくりでは、地域づくり活動団体「よらんかい」の皆さんが先生となって、調理体験をしました。今回は、流しそうめん、地元野菜を使った郷土料理「にぐい」をメインに行いました。

まず、各班担当を分けて、流しそうめん・にぐいの下準備を行いました。次からあげにする鶏をまるごと1匹さばきました。大人たちの心配をよそに子どもたちは、上手に鶏をさばっていました。

「よらんかい」の皆さんの鮮やかな調理姿に子どもたちも驚いた様子でした。

調理体験では、友だちと助け合い、協力して調理を行ったこともあり、味もひとしおのようでした。

